

産婦人科・周産期母子医療センター（母体・胎児部門）

1. 概要

周産期関係では2014年4月よりの総合周産期センターが開設された。常時緊急時には30分以内の帝王切開を可能にするため当直2人体制を施行し、センター開設以降15例の超緊急帝王切開が行われた。うち12例で30分以内の娩出が可能であった。バースセンター分娩の受け入れも開始し12月に1例目が無事出産に至った。母体・産褥搬送は全例応需を原則とし前年より増加した。

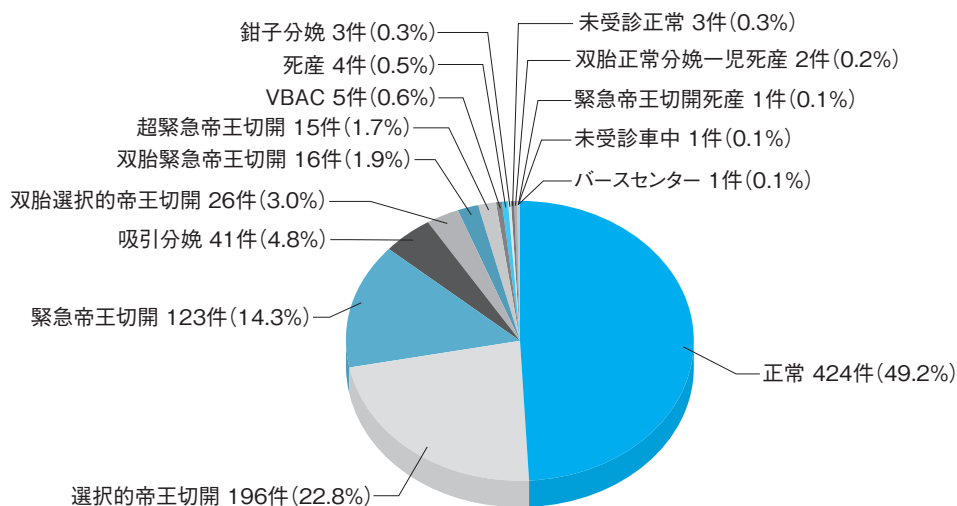
婦人科悪性腫瘍の治療では患者の状態や進行期を考慮した上で、手術、化学療法、放射線療法を組み合わせで行っており、成績は全国的にも高いレベルを示している。腹腔鏡下の手術へのシフトが著しく保険適応となった子宮体癌はもとより、子宮頸癌の腹腔鏡下手術（保険適応外）、ロボット手術も導入した。

子宮筋腫をはじめとする良性疾患に対しても腹腔鏡下手術が主流となり、低侵襲で入院期間も短縮された。

（第二部長 岡田 真由美）

●分娩統計

総件数：861件



分娩統計(2014.1－12) (件)

正常	424
選択の帝王切開	196
緊急帝王切開	123
緊急帝王切開死産	1
超緊急帝王切開	15
鉗子分娩	3
吸引分娩	41
VBAC	5
未受診正常	3
未受診車中	1
死産	4
双胎選択の帝王切開	26
双胎緊急帝王切開	16
双胎正常分娩一児死産	2
バースセンター	1
計	861
中期中絶	16
中期流産	3
中期中絶帝王切開	1
双胎中期中絶	1
中期中絶緊急帝王切開	1
計	22
母体搬送	211

産婦人科悪性腫瘍治療症例数(2014.1－12) (件)

◎子宮頸部CIN2	計15
円錐切除	13
腹腔鏡下子宮全摘術	2
◎子宮頸部CIN3	計65
円錐切除	53
レーザー蒸散	1
腔式子宮全摘	4
複式単純子宮全摘	1
腹腔鏡下子宮全摘術	6
◎子宮頸癌	計38
①子宮頸癌腹腔鏡下手術	11
1A	1
1B1	9
1B2	1
②子宮頸癌開腹手術例	10
1A	2
1B1	7
1B2	1
③子宮頸癌ロボット支援手術	2
1A	1
1B1	1
⑤子宮頸癌化学放射線療法(放射線科と共同治療)	8
2A	1
2B	6
4B	1
⑥子宮頸癌放射線療法(主に放射線科)	7
1B1	1
2B	3
3A	2
4A	1
◎子宮体癌(肉腫含む)	計54
①手術	51
1A	31
1B	9
2	4
3A	2
3C	3
4B	2

うち腹腔鏡手術……………	33
開腹手術……………	16
ロボット支援手術……………	2
②子宮体癌放射線治療……………	3
1A ……………	2
1B ……………	1
◎子宮内膜増殖症……………	計3
①手術……………	3
うち腹腔鏡手術……………	1
◎卵巣境界悪性腫瘍……………	計7
1A ……………	2
1C ……………	5
◎卵巣悪性腫瘍……………	計21
1A ……………	3
1B ……………	2
1C ……………	5
3A ……………	2
3B ……………	3
3C ……………	5
4 ……………	1
◎卵管癌……………	計1
◎転移性卵巣癌……………	計3
◎腔癌化学放射線治療……………	計1
◎化学療法	
子宮頸癌	33人 のべ111コース
子宮体癌	31人 のべ133コース
卵巣癌	49人 のべ293コース
絨毛性疾患	3人 のべ13コース
その他	4人 のべ18コース
計	120人に対して、のべ468コースを 施行した。

産婦人科当直帯救急患者数(夜間休日)(2014.1-12) (件)

経陰分娩……………	342
緊急帝王切開……………	86
その他緊急手術……………	44

救急外来患者数再診

8:30-17:00 (休日のみ) ……………	143
17:00-0:00 ……………	248
0:00-8:30 ……………	103
計 ……………	494

救急外来患者数初診

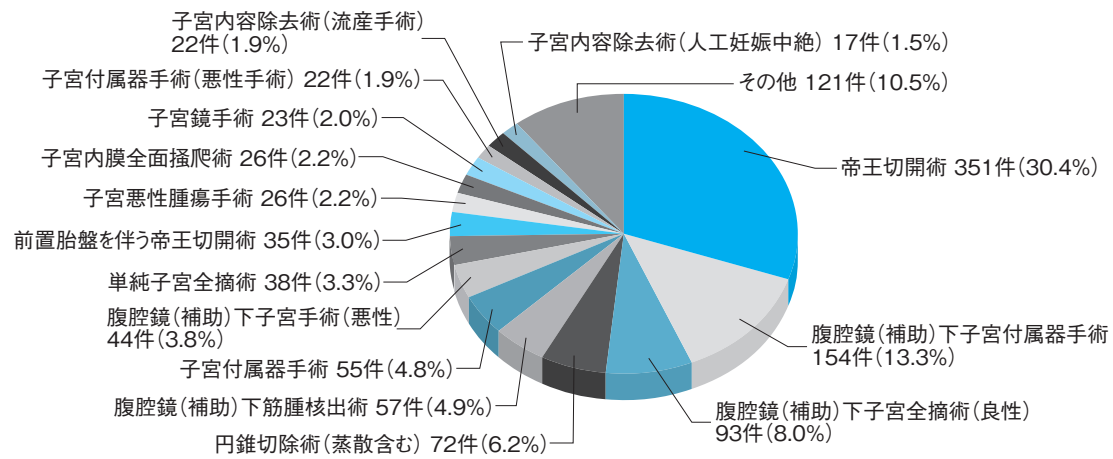
(カッコ内は本来他の施設で診察すべき患者数)

8:30-17:00 (休日のみ) ……………	69(8)
17:00-0:00 ……………	170(13)
0:00-8:30 ……………	96(18)
計 ……………	335(39)

救急外来患者総数……………	829
---------------	-----

●手術件数

総件数：1,156件



学会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	卵管原発の漿液性境界悪性腫瘍の一例	筆頭演者	小林 浩治	第98回愛知産科婦人科学会学術講演会	2014/1/25
2	当院で経験した悪性腫瘍合併妊娠の7例	筆頭演者	松尾 聖子	第98回愛知産科婦人科学会学術講演会	2014/1/25
3	大量の腹水をきたし癌性腹膜炎と鑑別を要し、腹腔鏡にて確定診断に至ったクラミジア感染症の1例	筆頭演者	吉田 光紗	第98回愛知産科婦人科学会学術講演会	2014/1/25
4	子宮体癌低リスク症例(Mayo criteria)の治療成績	筆頭演者	河井 通泰	第134回東海産科婦人科学会	2014/2/16
5	子宮体癌低リスク症例(Mayo criteria)における術前診断	筆頭演者	矢吹 淳司	第134回東海産科婦人科学会	2014/2/16
6	当科における転移性卵巢癌27症例の臨床的検討	筆頭演者	伴野 千尋	第134回東海産科婦人科学会	2014/2/16
7	安全に腹腔鏡下子宮体がん根治術をおこなうために	筆頭演者	梅村 康太	第66回日本産科婦人科学会	2014/4/19
8	子宮頸癌ⅡB期に対する同時化学放射線療法の治療成績	筆頭演者	池田 芳紀	第66回日本産科婦人科学会	2014/4/19
9	当院における「飛び込み分娩」の現状	筆頭演者	伴野 千尋	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/14
10	当院における40歳以上高齢分娩の傾向と現状	筆頭演者	岡田真由美	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/14
11	当院における過去5年間の常位胎盤早期剥離50例の検討	筆頭演者	松川 哲	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/15
12	当院における自然妊娠および不妊治療による双胎妊娠の比較検討	筆頭演者	吉田 光紗	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/15
13	当院で経験した悪性腫瘍合併妊娠の8例	筆頭演者	松尾 聖子	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/15
14	卵管漿液性境界悪性腫瘍の一例	筆頭演者	小林 浩治	第56回日本婦人科腫瘍学会	2014/7/17
15	当院における卵巢明細胞腺癌の臨床的検討	筆頭演者	小林 浩治	第56回日本婦人科腫瘍学会	2014/7/18
16	婦人科腫瘍専門医による腹腔鏡下子宮体癌根治術へのアプローチ	筆頭演者	梅村 康太	第56回日本婦人科腫瘍学会	2014/7/17～ 2014/7/19
17	肥満症例に対する腹腔鏡下子宮全摘術の検討と工夫	筆頭演者	吉田 光紗	第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2014/9/12
18	腹腔鏡下筋腫核出術における運針法について	筆頭演者	小林 浩治	第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2014/9/12
19	TLHIはマニピュレーターの動きで決まる	筆頭演者	北見 和久	第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2014/9/13
20	子宮体癌に対する腹腔鏡下手術における視野展開と操作	筆頭演者	梅村 康太	第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2014/9/13
21	子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎性子宮全摘術への取り組み	筆頭演者	梅村 康太	第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2014/9/13
22	子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術と蛍光ICGによるセンチネル同定法	筆頭演者	梅村 康太	第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2014/9/13
23	ビギナーのTLH執刀への道のり	筆頭演者	吉田 光紗	第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	2014/9/11～ 2014/9/13
24	Analysis from 51 cases of placental abruption: five years review in our hospital	筆頭演者	Satoshi Matsukawa	Hypertension Research in Pregnancy The46th international congress on pathophysiology of pregnancy	2014/9/18

学会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
25	シンポジウム 子宮体癌に対する 腹腔鏡下手術における安全な視野 展開と操作	筆頭演者	梅村 康太	第27回日本内視鏡外科学会	2014/10/2
26	ワークショップ 子宮頸癌に対す る腹腔鏡下広汎性子宮全摘術 ～先進医療取得を目指して～	筆頭演者	梅村 康太	第27回日本内視鏡外科学会	2014/10/2
27	当院における腹腔鏡下筋腫核出術	筆頭演者	小林 浩治	第27回日本内視鏡外科学会	2014/10/3
28	当院におけるminimally invasive surgeryの試み	筆頭演者	吉田 光紗	第27回日本内視鏡外科学会	2014/10/4
29	骨盤内拡大手術への応用～子宮頸 癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘 術とセンチネルナビゲーション	筆頭演者	梅村 康太	第27回日本内視鏡外科学会	2014/10/2～ 2014/10/4
30	子宮体癌に対する腹腔鏡下手術～ 安全な視野展開と操作～	筆頭演者	梅村 康太	第37回日本産婦人科手術学会	2014/10/11
31	子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎性 子宮全摘術における後腹膜の展開	筆頭演者	梅村 康太	第37回日本産婦人科手術学会	2014/10/11
32	当科における帝王切開術後の血栓 予防プロトコール	筆頭演者	北見 和久	第37回日本産婦人科手術学会	2014/10/11
33	ディスポ吸引娩出カップ(Kiwi) を 使用した単純子宮全摘術の工夫	筆頭演者	吉田 光紗	第37回日本産婦人科手術学会	2014/10/12
34	大量腹水をきたしたクラミジア性 骨盤腹膜炎の1例	筆頭演者	矢野 有貴	第29回日本女性医学学会	2014/11/1
35	胎動減少を主訴とした胎児小腸念 転症の1例	筆頭演者	山口 恭平	第37回日本母体胎児医学会学 術集会	2014/11/8
36	頸管裂傷後、子宮型羊水塞栓症を 生じたと考えられた一例	筆頭演者	松川 哲	第38回日本母体胎児医学会学 術集会	2014/11/8

研究会発表（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	当院における腹腔鏡下手術の取り組みについて	筆頭演者	梅村 康太	第8回愛知県産婦人科医会学術研修会(三河ブロック)	2014/1/18
2	最新の子宮体がん治療 開腹術から腹腔鏡下手術の時代へ	筆頭演者	梅村 康太	第6回東海婦人科腫瘍研究会	2014/3/29
3	頸管裂傷後、子宮型羊水塞栓症を生じたと考えられた一例	筆頭演者	松川 哲	平成26年度東海周産期研究会	2014/5/17
4	卵巣癌治療の変遷	筆頭演者	河井 通泰	Chugai ovarian cancer seminar in MIKAWA	2014/6/14
5	卵巣癌Ⅲ期に対してアバスチン併用TC療法を施行した1例	筆頭演者	小林 浩治	Chugai ovarian cancer seminar in MIKAWA	2014/6/14
6	子宮頸がん、子宮体がんに対する手術療法～開腹術から腹腔鏡の時代へ～	筆頭演者	梅村 康太	第二回東三河産婦人科フォーラム	2014/6/28
7	腹腔鏡導入から定型化まで	筆頭演者	梅村 康太	愛知三河内視鏡セミナー	2014/8/30
8	最近になって開腹手術からの大規模な転換を図った当院における腹腔鏡下子宮全摘術の臨床成績	筆頭演者	小林 浩治	第15回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2014/10/25
9	子宮体がんに対する腹腔鏡下手術の導入について	筆頭演者	梅村 康太	第15回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2014/10/25
10	ワークショップ：Minimally access surgery 細径鉗子を使用した腹腔鏡下子宮全摘手術	筆頭演者	吉田 光紗	第15回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2014/10/25
11	10代の悪性・境界悪性卵巣腫瘍9例の報告	筆頭演者	松尾 聖子	第35回東海卵巣腫瘍研究会	2014/10/25

座長・司会（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	当院における腹腔鏡下手術の取り組みについて	河井 通泰	第8回愛知県産婦人科医会学術研修会(三河ブロック)	2014/1/18
2	子宮内膜症の治療戦略～手術と薬物療法をどう選択するのか？～	梅村 康太	第8回愛知県産婦人科医会学術研修会(三河ブロック)	2014/1/18
3	浜松医療センターにおけるメディカルバースセンターについて メディカルバースセンターを支える医師の立場から	河井 通泰	周産期講演会	2014/1/30
4	婦人科腫瘍における化学療法と副作用対策	河井 通泰	第39回豊橋がん診療フォーラム	2014/2/20
5	抗ミューラー管ホルモンと血栓のリスクを考慮した子宮内膜症の治療方針	河井 通泰	三河地区産婦人科講演会	2014/2/22
6	子宮内膜症に対する薬物治療のトレンド～私はこう治療している～	河井 通泰	三河地区産婦人科講演会	2014/2/22
7	症例報告	松川 哲	浜名湖カンファレンス	2014/3/1
8	婦人科領域におけるAdvanced Minimally Invasive Surgery 腹腔鏡下手術最前線	梅村 康太	第2回東三河婦人科フォーラム	2014/6/28
9	当院における40歳以上高齢分娩の傾向と現状	岡田真由美	第50回日本周産期・新生児医学会	2014/7/15
10	静岡がんセンターにおけるチーム医療の実際～医師の役割～看護師の役割～	河井 通泰	第42回豊橋がん診療フォーラム	2014/7/31
11	産婦人科診療ガイドライン2014伝達講習会産科編	河井 通泰	平成26年度日本医師会生涯教育講座第3回学術研修会第2回母体保護法指定医師講習会	2014/8/23
12	ビデオカンファレンス	梅村 康太	愛知三河内視鏡セミナー	2014/8/30
13	腹腔鏡下仙骨腔固定術の安全な手技の実際と適応	梅村 康太	骨盤臓器脱における仙骨腔固定術を学ぶ会	2014/9/26
14	腹腔鏡下手術の限界への挑戦	梅村 康太	東海婦人科内視鏡ビデオクリニックセミナー	2014/11/21
15	LNG-IUSの臨床応用	河井 通泰	第7回学術研修会(三河ブロック)	2014/12/6

講演（医局）

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	2013年の産科統計	岡田真由美	周産期講演会	2014/1/30
2	当院における総合周産期母子医療センターおよびバースセンターの概要	河井 通泰	周産期講演会	2014/1/30
3	安全に腹腔鏡下子宮体がん根治術をおこなうために	梅村 康太	日本産科婦人科学会第66回学術講演会	2014/4/19
4	子宮頸癌IIB期に対する同時化学放射線療法の治療成績	池田 芳紀	第66回日本産科婦人科学会学術講演会	2014/4/19
5	胎児頸部浮腫(nuchal translucency:NT) が認められた2例	岡田真由美	平成26年度周産期医療従事者研修会(東三河・南部医療圏)	2014/6/7
6	産婦人科診療ガイドライン2014伝達講習会、婦人科外来編	河井 通泰	平成26年度日本医師会生涯教育講座、第3回学術研修会、第2回母体保護法指定医師講習会	2014/8/23

論文・著書 (医局)

<産婦人科・女性内視鏡外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	Extremely poor postrecurrence oncological outcome for patients with recurrent mucinous ovarian cancer	共同著者	Kawai M	Int J Clin Oncol 19: 121-126 2014
2	Mutation analysis of FOXL2 p.C134W and expression of bone morphogenetic protein 2 in Japanese patients with granulosa cell tumor of ovary	共同著者	Kawai M	J Obstet Gynaecol Res 40: 1197-1204 2014
3	Survival benefit of taxane plus platinum in recurrent ovarian cancer with non-clear cell ,non-mucinous histology	共同著者	Kawai M	J Gynecol Oncol 25: 43-50 2014
4	Clinicopathologic features of epithelial ovarian carcinoma in younger vs. older patients :analysis in Japanese women	共同著者	Michiyasu Kawai	J Gynecol Oncol 25: 118-123 2014
5	Oncologic outcome after recurrence in patients with stage I epithelial ovarian cancer: are clear - cell and mucinous histological types a different entities?	共同著者	Michiyasu Kawai	Eur J Obstet Gynecol Reproductive Biology 181: 305-310 2014
6	Recurrence-predicting prognostic factors for patients with early-stage epithelial ovarian cancer undergoing fertility-sparing surgery: a multi-institutional study	共同著者	Michiyasu Kawai	Eur J Obstet Gynecol Reproductive Biology 175: 97-102 2014
7	Uterine sutures at prior caesarean section and placental accrete in subsequent pregnancy: a case-control study	共同著者	M Kawai	BJOG 121: 866-874 2014
8	分娩中に自然子宮破裂を発症した血管型 Ehlers-Danlos症候群の一例	筆頭著者	池田 芳紀	日本周産期・新生児医学会雑誌 50:1088-1094 2014
9	子宮内膜症性嚢胞摘出後の妊娠分娩転帰に関する検討	筆頭著者	池田 芳紀	日本エンドメトリオーシス会誌 35: 228-232 2014
10	産婦人科診療ガイドライン2014伝達講習会 婦人科外来編 CQ107, CQ409, CQ410, CQ416, CQ417 他の改正点解説	筆頭著者	河井 通泰	東海産科婦人科学会雑誌 51: 49-54 2014